

APICTA 2016 開催報告

平成 28 年 12 月 8 日

JISA 国際部

平成 28 年 12 月 2～5 日、台湾・台北市、圓山大飯店において、APICTA 2016 が開催された。APICTA (Asia Pacific ICT Alliance) は 2001 年にマレーシアが主導して設立し、現在、アジア 17 カ国のメンバーで構成されている。今年は 17 カテゴリーに計 16 か国、236 団体の応募があり、66 名の審査員が 2 日間にわたり審査を行った。各カテゴリーよりそれぞれ優勝 (Winner) と次点 (Merit) が 1 団体ずつ決定され、最終日の 5 日夜に発表・表彰式ならびにガラディナーが行われた。参加者は計 800 名以上、JISA からは (株) 網屋より Application Tools and Platforms のカテゴリーに応募したほか、審査員として (株) シーエーシー 大須賀正之氏 (グローバルビジネス研究会代表幹事)、(株) 網屋 柴崎正道氏 (同 委員) の 2 名が参加した。表彰式とガラディナーには、浜野一典 JISA 副会長・国際委員長をはじめとする 10 名が参加した。



APICTA メイン会場となった圓山大飯店



School 部門の応募者 (Hong Kong)

Tertiary (大学等 高等教育機関)、School (12 歳～18 歳)、Student (12 歳以下) のカテゴリーへも多数参加しており、企業部門の応募者と同じく、英語でのプレゼンテーションを行い、審査員による審査が行われた他ほか、懇親会で自分たちのブースを設け、応募したプロダクトを参加者へアピールを行った。



自社のプロダクトをアピールする (株) 網屋 牧野氏 LIVE 映像の様子

また、今年初めて設けられた APICTA Studio では、各応募団体が希望制で 5 分間のアピールの場が与えられ、Live 映像で配信された。後日、APICTA ホームページで全ての団体の製品やサービスの紹介映像が見られることになっている。

2 日間に及ぶ審査終了後、5 日には Award 授賞式が台北国際コンベンションセンターにて開催され、台湾を代表し、女性初の中華民国総統 蔡英文氏より主賓挨拶が行われた。その後、各カテゴリーの受賞者が次々に発表され、JISA から応募した (株) 網屋は APICTA Recognition Award を受賞した。



Awardを受賞し、登壇する(株)網屋のみなさん

なお、来年の APICTA2017 はバン格拉ディッシュで開催されることとなり、紹介映像と挨拶が行われた。

Award 授賞式終了後にはガラディナーが行われ、幕を閉じた。



ガラディナーの様子



審査員の大須賀氏、柴崎氏